

令和 8 年度（2026 年度）滋賀大学大学院経済学研究科博士前期課程 入学者選抜試験の出題方法の変更について（予告）

滋賀大学大学院経済学研究科博士前期課程の令和 8 年度（2026 年度）入学者選抜（2026 年 4 月入学）から、筆記試験に係る出題方法を以下のとおり変更します。

1. 出題類型 A 類及び B 類の「統計学」について、本学での試験は実施せず、一般財団法人 統計質保証推進協会の実施する「統計検定」の成績を利用します。

		現行（令和 7 年度まで）	新（令和 8 年度から）
出題類型	出題科目	出題方法	出題方法
A 類	統計学	「統計検定」2 級の過去問題を一部改編して出題	「統計検定」の成績を使用
B 類			

2. 筆記試験で「統計学」を選択する者は出願時に、統計検定 2 級の試験結果レポート又は試験結果証明書を提出してください。準 1 級の合格者は試験結果レポート又は試験結果証明書を、1 級（統計数理もしくは統計応用のいずれか）の合格者は合格証の原本を提出してください。
※試験結果レポート及び合格証の原本は受験票とともに返却します。
3. 選抜方法等の詳細については、「令和 8 年度滋賀大学大学院経済学研究科（博士前期課程）学生募集要項」等で公表します。